

社会・環境型センサーネットワーク協議会メンバー各位  
産業競争力委員会メンバー各位

SeNSA(社会・環境型センサーネットワーク協議会)/CIC(産業競争力委員会)合同  
「医療・健康分科会」設置提案  
趣意書

2011年4月1日  
(社)科学技術と経済の会

センサーネットワークコンソーシアム(SeNSA)では、人体センシングに取り組む方針が打ち出され、介護や医療の施設と提携して社会実験を行うべく、企画提案を進めて来ている。一方、産業競争力委員会では医療・健康分野は新成長戦略でも今後注力すべき重要領域として挙げられ、その中でセンサーネットワークもキーテクノロジーとして期待されている。しかしながら、医療・健康分野についての我が国における取り組みは、安全についての優先度が高いことや、変革に対する抵抗感が強いことによると思われるが、これまでの種々のプロジェクトもなかなか大きな成果につながっていない。

そこで、むしろ少し15年くらいの将来に的を絞って、現状の規制や技術を離れて将来あるべき姿を描き、

- a. その医療経済的な分析を行うとともに、
- b. 要素を産業的モジュールに分解し、それぞれのモジュールについての切迫度や実現性を評価し、
- c. 必要なインフラのあり方と標準化に関する動向を調査し、
- d. 切迫度が高く、実現性の高いモジュールを対象とした社会実験の提案を行いつつ、
- e. 事業化の道を検討する、

ことが現実的な進め方ではないかと考えた。このような進め方により、わが国独特の事情などから離れ、諸外国における努力なども取り入れた望ましい描像が出来るとともに、プリコンペティティブナ領域での有効な力の結集が図れるものと期待する。

将来像の概略としては、「ユビキタスな医療と健康づくり」を中心に据えることが基本になる。日本遠隔医療学会を始め、産学官と連携をとり、医療と健康を密接に工学に関連付け、双方にメリットがもたらされる斬新な描出につながるよう努めることとする。

## 1. 分科会活動内容

- 1) 現在の研究や技術開発状況と社会の変革の趨勢を踏まえて、15年ほど先の健康・医療のあるべき姿を、現在の規制や国境にとらわれないで、描き、医療経済的な視点からのおおよその経済規模を予想する。
- 2) デジタルネットワーク革命中でもセンサーネットワークのインパクト、グーグル革命とを織り込む。
- 3) 現在の国内およびグローバルな医療経済的構造を概略明らかにして、上記分析と比較する。
- 4) 15年後の描像を産業モジュールに分解し、それぞれのモジュールについて、実現の難易度を評価し、それらの間の依存関係を予想する。
- 5) それぞれのモジュールの実現のための時間、切迫性、インパクトなどを評価する。
- 6) 切迫性が高いものや実現の容易性の高いモジュールについて、社会実験提案を作成する。
- 7) IEEE や IHE、IEC 等での標準化動向を調査し、普及を支えるインフラについて今後の大きな方向を探る。
- 8) 情報収集活動として、健康・医療に関わるセンサーネットワーク研究者、遠隔医療学会研究者、在宅医療学会研究者等、関連分野の研究者によるセンサーネットワーク研究会の講演を当面集中的に企画する。
- 9) 時間的には平成23年4月からのコンソーシアムの活動の中で行い、今年中に成案を得る。

## 2. スケジュール

- 1) 分科会参加者及び客員募集

4月末まで

2)集中講演	4月から8月まで
3)たたき台作成、調査項目分解、分担	5月末まで
4)医療経済的分析	6月末まで
5)インフラに関する標準化動向調査	7月末まで
6)中間報告(技術経営会議運営委員会、SeNSA 運営委員会)	8月
7)補足調査	10月末まで
8)社会実験提案	11月末まで
9)報告書ドラフト	11月末
10)報告書	12月末

### 3. 講演者候補

1)「細胞科学が教える医療・健康」	4月22日	跡見順子氏(東京大学特任教授)
2)体内カプセルとボディセンサーネットワーク	5月20日	河上正三氏(Given Imaging 日本代表)
3)遠隔医療と認知症	6月	村瀬澄夫氏(日本遠隔医療学会元理事長)
4)IPTV 網活用の利点と問題点	6月	三瓶宏一氏(国際医療福祉大学大学院)
5)救急医療体制と車載 IT システム	7月	熊田恵介氏(岐阜大学救命救急センター)
6)在宅健康管理システムと医療費	7月	明松祐司氏(兵庫県立大学大学院)
7)高齢者見守りシステムと転倒検出	8月	宮城慶介氏(東洋大学大学院)
8)ネット相談システムの有用性	8月	二宮淳一氏(NPO 法人プロドクターズネット)
9)		(日本在宅医療学会)
10)		医療経済専門家
11)		IHE(Integrating the Healthcare Enterprise)日本事務局

### 4. 費用 当面無料

事務局・連絡先 Tel:03-3263-5501

小野 [ono@jates.or.jp](mailto:ono@jates.or.jp)

太田 [k-ota@jates.or.jp](mailto:k-ota@jates.or.jp)